

平成25年度地域づくり人養成講座

研究員 平岡 美野里

★初執筆です！

「舞たうん」に初めて執筆させていただきました。研究員の平岡です。実は、4月に発行した舞たうん116号裏表紙の集合写真にもぎこちない笑顔で写っています。さて、今回は、私が担当している「地域づくり人養成講座」についてレポートさせていただきます。この講座は、地域の実態に即した実践的な研修を通じて、地域づくりの担い手としてのスキル向上を図り、各地域において活動の中心となる人材を育成することを目的として、毎年開催しています。

今年度は、6月に開講し、4回にわたる現地研修を経て、11月末に無事閉講式を迎えました。今年度より当センターに配属さ



グループワークの様子

れ、「地域づくりって……？」の私も、受講生の皆さんと一緒に学ばせていただきました。そんな私の感想も含めまして、講座の様子を少し

でも皆様にご報告できたらと思います。

★講座の内容

第1回の講座では、座学として農山漁村の現状について学びました。従来の農山漁村は、多品目・少量生産、自家消費というように、生産と生活がつながっていました。現在では、品物の単一化、大量生産により、生産と生活が分断されている状況にあります。笠松先生からは、地産地消、自給自足、人と環境のつながりを大切にしたい暮らしは農山漁村でこそ実現でき、古くて新しい発想の生き方も今後は考えられるのではないかとという提案がなされました。

第2回から第5回の講座では、宇和島市・蔭淵、内子町小田、東温市河之内、新居浜市へと足を運び、現地視察とグループワークを行いました。

第2回の蔭淵は、住人の大多数が水産業で生計を立てている地区で、水産業を中心とした地域活性化を目標に活動していました。岩牡蠣の販売戦略や情報発信の方法、また、特産品の開発や販売を手掛ける企業組合こもねつとの地域への関わり方など、蔭淵で活用できる資源に着目して、地域が元気になる方法を考えました。

第3回の小田では、軽トラ一台で参加できる林業ということで「木こり市場プロ

開講式&第1回(6月22日)

「農山漁村における生産と地域づくり」講師/愛媛大学農学部 講師 笠松浩樹氏

第2回(7月26日)

「水産業を通じた地域づくり」講師/岩牡蠣養殖業 島津伊智代氏

第3回(8月30日)

「間伐材を利用した地域活性化」講師/内子町役場小田支所 主査 高本匡介氏

第4回(9月28日)

「お米づくりが里山風景を守る」講師/お米のファーム坂本 代表 坂本憲俊氏

第5回(11月1日)

「地域と連携した産直市のあり方」講師/eワーク愛媛 理事長 難波江任氏

第6回&閉講式(11月30日) 自主研究発表会

全講座の指導講師/(有) 邑都計画研究所 代表取締役 前田眞氏

「ジェクト」についてお話を伺いました。実際に伐採から市場への出荷の様子を見学し、山の果たす役割を理解した上で、魅力ある身近な木材を活用した地域づくりについて話し合いました。

第4回の河之内では、この地区の里山風景を守り、将来にわたって持続する地域をつくろうと活動されている坂本さんからお話を伺いました。地域経済を支えるブランド米づくり、里山の保全、風景の魅力磨きなど、お米づくりをベースにしたまちづくりについて考えました。

第5回の新居浜市では、産直市による地域コミュニティの創造に取り組んでいる「にいはま こんかい屋」を見学しました。地元農産物の販売だけでなく、若者の就労体験の場としての利用、買い物弱者支援としてリヤカーによる移動販売など、地域に必要とされる産直市の姿について考えました。

そして、第6回では、受講生一人一人が、自身の地域づくりに対する思い、講座を通じて学んだことについて発表を行い、互い



第2回 宇和島市蔦淵



第3回 内子町小田



第4回 東温市河之内



第5回 にいはま こんかい屋

に見識を深め、思いを共有しました。

★知ろうとする気持ち

全講座を通して印象深かったのは、受講生の皆さんがとても好奇心旺盛だということです。興味・関心を持ちながら視察し、グループワークの際も積極的に講師の方に質問を投げかけるといった姿を多く見かけました。それはひとえに、その人を、その地域を真剣に理解しようとする気持ちから発するものだと思います。受け身になるばかりではなく、自分の気持ちや直感を信じて行動することも、地域づくりには欠かせない姿勢だなと感じました。

★出合いを大切に

7月の蔦淵での講座を終えたときに、「やっと現地研修の1回目が終わったねなど」と話していたのが、ついこの間のことのように感じます。この半年間で、受講生一人一人には、講師の方の言葉、その地域独特の雰囲気や印象深く残ったことでしょう。この講座での出合いや学びは、受講生



閉講式

のこれからの活動において大いに励みになると思います。なにより、私自身の貴重な財産となりました。今後も講座を修了された受講生の活躍に期待しつつ、来年度の講座で新たな出合いも心待ちにしたいと思います。

研究員報告
②

「伊予市周辺地域活性化対策モデル事業について」

研究員 鈴木 伸弥

★はじめに

当センターでは、今年度、伊予市より委託を受け、「伊予市周辺地域活性化対策モデル事業」を実施しています。今回は、センターの取り組みとしてこの事業を紹介します。

この事業は、伊予市中山町佐礼谷地区において「地域産品の商品化・販売やPR等を通じて地域住民の収入・就労の確保」による地域活性化を目指すものです。



東京マルシェ

その大きな特徴は、「住民自治されだに」が目指す地域の活性化に対して、新ふるさとづくり総合支援事業により、愛媛県中予地方局と伊予市の連携のもと、私たちセンターの地域政策に関わるノウハウと人材を活用し、事業を行っていることです。

★「住民自治されだに」の活動

まずは、伊予市中山町佐礼谷の紹介をします。当地区は、人口644人(15・10・31現在)、高齢化比率48・6%、松山市街まで1時間の山間地域に位置している自然豊かな地域です。

この地区では、地域活性化を図るべく、平成20年6月に「住民自治されだに」が発足しました。平成21年4月には地域づくり計画を策定し、「笑顔と情熱 新しい風吹く里されだに」をスローガンに掲げ、草刈りからイベントまで積極的に地域活動を実施しています。しかしながら、佐礼谷においても高齢化が進み、地域課題がより顕在化しているのが現状です。

★佐礼谷のPRと地域の利益を目指して

さて、この事業の目的は、地域産品を使った商品開発により地域住民の収入・就労を確保し、将来においても、住民が佐礼谷地区に永続的に居住し続けられる環境を整備

していくことにあります。

そのために、①地域活性化に向けた住民意識啓発・合意形成の推進、②外部人材の活用による専門的な知識の導入、③持続可能な事業計画の立案と事業の実施を事業概要として進めています。

事業を進めていくにあたっては、事業のファシリテーター(進行役)として前田眞先生(有)邑都計画研究所代表取締役)、産品開発・販路開拓のアドバイザーとして米田佳代子先生(6次産業化プランナー)に加わっていただき、専門的なアドバイスをいただいています。

具体的

な活動の一つとして、佐礼谷産のゆずを使う「ゆずこしょう」の商品化と事業活動が行える体制づくりを行っています。そのため



ワークショップ風景

研究員報告

③

皆が助けあえる社会になるために

研究員 田中 伝治

に、松山市や東京での販売マーケティング、松山市内の旅館・飲食店への試食モニタリングを通じて、商品のブラッシュアップに取り組んでいます。また、継続的な利益を得られるように、その第一歩として、来年

度の事業計画策定に向けて、定期的なワークシoppを実施しています。
ここでは、紹介しきれませんが、他にも「かぐや姫おでん（いのししダシのたけのこ入り）」「べへレイ（淡水魚）の養殖」「いのし

しスモーク」などの商品開発を行っており、佐礼谷の魅力ある商品の事業化に向けて取り組んでいます。近いうちに、皆様にもその成果を披露できると思いますので、楽しみにしてください。

★「協働における地域づくり」に参加しませんか？

急速な高齢化、人々の価値感やライフスタイルが多様化するなか、福祉や環境、教育、防犯など、さまざまな分野において課題が発生しており、課題解決への取り組みが必要となっています。

そして、これらへの取り組みは、行政だけに頼るのではなく、市民やNPO、企業などが主体的に参画し、皆で支え合いながら新しい地域社会をつくっていくことが求められています。

このために我々は、愛媛県内の企業、団体に参加を呼びかけ、平成24年度に「えひめ地域社会未来づくり協働会議」を設置して、市町と連携しながら愛媛の実情にあった課題解決、助け合い

の仕組みづくりを検討してきました。

具体的には高齢者の見守り、少子化対策、地域社会の活性化などの課題に対し、企業・団体が積極的に参加できる体制、また地域社会に役立たせることができる仕組みを考えながら活動しています。

この協働会議が発足して約1年半、さまざまな課題が山積みとな

なっている現状を再認識し、これら課題解決のためにさらには多くの市民、企業、団体が主体的に参加することが大事だと感じているところです。

このため、協働会議メンバー間の連携を深めていくことは勿論ですが、これからのいろいろな団体などに声掛けしながら、皆が助け合い、

安心して住める地域社会、愛媛県となるような取り組みを展開していこうと思っています。



地域の課題、ニーズの聴き取り



参加メンバーによる会議の様子